

Newsletter

ボランティアセンター通信



センター長からのメッセージ

公立大学法人首都大学東京
学生サポートセンター 副センター長
ボランティアセンター長
都市教養学部 人文・社会系 教授
永井 徹



首都大学東京のボランティアセンターも開設して2年目に入っています。この1年間の活動は、3月の報告にあったように予想以上の成果があったように思います。設立に当たり、ボランティアの精神は、そもそも学生の主体的な関わりが重要であり、大学側でお膳立てをして、さあボランティアをなささいというも、いかななものかという批判もありました。しかし、いざ始めてみるとそのような危惧は払拭され、スポーツボランティアと地域ボランティア活動を骨子として、有効に機能してきたように思います。情報の有効な活用と、実践に当たっての基本的な構えの指導なども丁寧になされていると思います。われわれの大学の規模に見合った、

手作り感のある人と人との直接的な関わりの中での活動が広がってきているようです。

話は変わりますが、私の教え子の話を二つ。A君は臨床心理士を目指していたのですが、阪神淡路大震災の後、実家が近かったこともあり、帰省してボランティア活動に参加しました。その体験がきっかけとなり幅広く支援ができる医者になる決意をして、現在は精神科医として働きながら、若者支援の活動をしています。Bさんは、瀬戸内国際芸術祭のボランティアに参加し、多くの出会いから世界中の困っている子どもたちの食支援をしているNPO活動を知り、大学を1年休学して世界一周の旅に出て、主にアジアの各地で食支援の活動に参加し、その体験を活かし現在は大手の食品会社に就職し、活動を続けています。二人ともボランティア体験が将来の可能性を広げる機会になったようです。ボランティアへの主体的な参加は、今という時代を肌で知る機会になると同時に、自己発見の体験になるかと思っています。多くの皆さんの参加を期待しています。



スタッフ & 学生コーディネーター紹介

～私たちが皆さんの「やってみよう！」を応援します～

ボランティアセンターには、多くの情報が集まってきます。「どれが自分に合うのかわからない」という人には専門のコーディネーター(職員)が相談に応じています。

また、本センターは、教職員に加えて、学生も「学生コーディネーター」として運営に参画しています。学生目線からボランティア活動の啓発・促進を目的に、ボランティアを希望する学生の相談に乗ったり、啓発するイベントを企画したりしています。ぜひお気軽にお越しください。

～学生コーディネーターからのメッセージ～

学生コーディネーター2年目の印出井です。高校時代、和太鼓部で活動していた私。大学ではやらないの？と友達に言われますが、少し考えてから、やらないかなあって答えています。自分には高校の、あの仲間といたから、演奏が出来たという自負が強く、確かにあるからです。

先月、初めての試みの学生コーディネーター企画「Greenフォト」が無事に終わり、次の企画に向けて、今年度より新しく入ってくれた人達と合わせて7人体制で共に取り組んでいます。このメンバーだからできること！高校の時のように、大学でもしっかりと見つけて頑張るやりとげたいな、と思います！これから宜しくお願いします。



【実施報告】学生コーディネーター企画 「Greenフォト2017～首都大魅力再発見ツアー Spring～」

5/27(土)に、本学南大沢キャンパスの松木日向緑地にて、学生コーディネーター企画「Greenフォト2017」を開催しました。

この企画は、本学の美しい緑地の中で、写真撮影&ゴミ拾いを通して、環境保護活動への理解やボランティア活動への関心を深めてもらうことを目指したものです。

活動は、事前講習・緑地散策・事後講習の3つで構成。写真部の協力を得て、写真撮影講習や撮った写真の講評会も実施し、普段ボランティアや環境保護に関心をもっていない方にも参加してもらえる企画となりました。

参加者の多くは緑地に足を踏み入れたことがなかったため、大変刺激的な体験となったようで、事後講習会では、首都大に美しい自然があることへの驚きや、それを守るために自分たちにできることなどについて、感想や意見が寄せられました。撮影された写真も、それぞれの思う自然の美しさや面白さが表現されており、散策中も散策後も非常に楽しい企画でした。

また、この企画は、学生コーディネーターが企画書作成からポスター制作など、ほとんど全てを担当しました。参加してくれた学生はもちろん、企画した学生コーディネーターにとっても、大変多くの気付きや学びを得られるイベントになったと思います。

東京都障害者スポーツ大会（陸上競技）

5月27日（土）・28日（日）・6月3日（土）、駒沢オリンピック公園にて「東京都障害者スポーツ大会」の陸上競技が開催されました。「スポーツボランティアプログラム」のプレ企画と位置づけ、本学からは合計22名の学生が運営ボランティアとして参加しました。

5月27日（土）・28日（日）は、知的障害部門の大会で、1日目は受付係を、2日目は競技補助員として、計時係を担当しました。計時係は、ゴール地点にて、ストップウォッチでタイムを計る役割でした。学生たちは、「私たちがこんな重要な役割を担当しているのか」と最初は緊張と不安でいっぱいでしたが、プロの審判の方のサポートを受けながら、とても貴重な経験ができました。

6月3日（土）は、身体障害部門の大会で、競技補助員として、計時係と投てき審判員の補助の2つに分かれて活動しました。投てき審判員は、メジャーを持って、飛んだ距離を測ったり、記録をつける役割を担いました。

学生たちは、間近で競技を見ることができ、障がいの有無に関係なく、競技者として自分のもっている力を最大限に引き出し、一生懸命に記録に挑んでいる方々の姿に感動したり、それを可能にするスポーツの魅力を感じることができたようです。



記録用紙にタイムを記入している様子



タイム測定も行いました

ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア団体フェア「サマボラ2017！」 ～知らない“自分”を探す夏～

夏休みをより充実したものにするために、ボランティア活動をやってみませんか。

「ボランティアに興味はあるけど、何ができるのかわからない…」
「一人で話を聞きに行くのは、少し不安…」

といった思いをお持ちの皆さん、ぜひこのイベントに参加してみてください。様々なジャンルのボランティア団体がブースを設置して皆さんをお待ちしています。

また、特別企画として、オリンピッククイズ・ボッチャ体験・講話「私たちの復興と防災」・ハンドスタンプアート体験も実施します。

友達と一緒に関心のある分野の話をもっと聞けるチャンスです！

※授業に影響が出ない時間帯にご参加ください。

- ◆日 時：7/20（木）と21（金）ともに11:30～17:00
- ◆場 所：南大沢キャンパス インフォメーションギャラリー
- ◆参加団体分野：子ども・障がい者・国際・環境・スポーツ
路上生活者支援・復興支援など

産経新聞「大学ナビ」に本センターが掲載

5月17日付の産経新聞「大学ナビ」のコーナーの首都圏の大学の「ボランティアセンター開設相次ぐ」という特集記事において、首都大学東京のボランティアセンターを紹介する記事が掲載されました。

↓↓↓詳細はWebサイト「産経ニュース」から↓↓↓

<http://www.sankei.com/life/news/170517/lif1705170003-n1.html>

<編集後記>

2017（平成29）年度となり、ボランティアセンターも2年目に入りました。今年度からセンター長をはじめ、事務局体制も変更がありました。新たな体制で、さらに多くの学生や教職員、地域の方々とながらぎを深めていきたいと考えています。最近の嬉しい出来事として、ボランティアプログラムでは、2年目の学生が、1年目の学生をうまくサポートしながら、主体的な自主企画が始まっています。皆さんの「主体性」「自発性」を応援するボラセンでありたいと思います。

親子でタケノコ掘りin首都大・松木日向緑地

「地域ボランティアプログラム」のプレ企画として、「親子でタケノコ掘りin首都大・松木日向緑地」を実施しました。

4月15日（土）、22日（土）、29日（土）の3日間実施し、ボランティアとして、29人の学生が参加してくれました。近隣の柏木小学校や愛宕小学校、南大沢小学校からは、親子と先生方あわせて237人が参加。大変多くの方が緑地を訪れてくれました。

また、今年は障がい者の自立支援をしている団体「自立ステーションつばさ（以下、つばさと言う）」のメンバー18人と関係者5人、姉妹団体の方8人の合計31人にも来ていただき、障がいのある方にも緑地でのタケノコ掘りを体験していただきました。つばさの方の中には、車椅子を用いる方や脚が不自由な方がおられたため、普段自分たちが何気なく歩いていた歩道や活動していた緑地が、まだまだそうした人々にとって気軽に足を運べる場所ではないのだ、と感じる機会となりました。

今年は全体的にタケノコが不作だったため、竹林に住むタヌキの巣の見学や、竹の伐採、切った竹を利用して箸やコップ、一輪挿しづくりなど、タケノコ掘り以外の竹林で楽しめる企画も様々行われました。子どもたちにとってもつばさの方々にとっても、豊かな自然に触れ合うことができる、大変有意義な時間になったようです。



多くの方が訪れてくれました



車椅子の方もタケノコ掘りを体験

学外団体からのボランティア募集情報

【東京都八王子福祉園】

「納涼盆踊り大会」ボランティア募集

日時：7月28日（金） 16:30集合 17:30～20:00

場所：八王子福祉園 駐車場（雨天決行）

（八王子市西寺方町76 「上小田野」バス停下車すぐ）

内容：重度知的障がい者の方の支援施設である八王子福祉園と地域の町会との共催による納涼盆踊り大会において、模擬店やゲームコーナーのお手伝いや利用者の方との交流等を行う。

申込：東京都八王子福祉園（担当：支援第9係 黒川）

電話 042-651-4594（平日9:00～17:00）

ボランティア保険に必ず加入しましょう ～更新は4月始まりの年度ごと～

ボランティア活動中には、ボランティア自身がケガをしたり相手にケガをさせてしまったり、物を壊してしまうこともあります。ボランティアだから責任を免除されることはありません。そんな万一の場合に備えて、必ず事前に「ボランティア保険」に加入してから活動するようにしてください。ボランティアセンターや近隣の社会福祉協議会で加入受付を行っています。（保険料：年間300円～）

<編集・発行>

首都大学東京ボランティアセンター

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 1号館1階

電話&FAX：042-677-1354（直通）／内線2260

E-mail：tmu-volunteer@jmj.tmu.ac.jp

URL：http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/12_volunteer/

発行日：平成29年6月